



在宅医療は健幸医療

長尾 和宏

医療法人社団裕和会・理事長
長尾クリニック・院長

今回は、ご主人が6年前に癌で亡くなつたため今も居酒屋に勤務されている、福島県いわき市で息子さんと一緒に住む女性

(55歳)からのご相談です。



お答えします！

認知症のお母さまを面会ができる施設から自宅で看る決心をされた娘様とお孫様の決断に敬意を表します。実はコロナ禍のなか、面会謝絶となつた病院や施設から帰られたことに大変満足して療養しておられます。

4年前から78歳の実母（レビー小体型認知症 要介護4）が老人ホームに入居しています。以前は、一日おきに見舞いに行き、食事の介助や着替えなどを手伝つていましたが、今回の新型コロナウイルスの感染拡大で面会禁止となり、5ヶ月が経ちます。先週、施設から「お母さまが2ヶ月前から食が細くなり、一口でも食べると気持ちが悪くなるようで、点滴をして様子を見ていました。施設で出来ることは、点滴をしながら食事ができるようになるまで何とか工夫してつないでいくことだけですが」と連絡が入りました。入院させて検査治療すべきなのか、今の施設で回復を待つか。いろいろ悩みましたが、「食べられなくなつたら人間終わり。まちがつても延命治療みたいなことを考えるんじゃないよ」が口癖で、食べる事が大好きな母のことを考えると、母を家に引き取つて一緒に生活することを決めました。市内のスーパーに勤めている息子も「夜は自分がおばあちゃんを見るから。好きなものを食べたら元気になるよ」と言つてくれていますので、これから準備を始めようと考えています。新型コロナウイルスの感染拡大が続いているこの時期に、認知症の母を介護するにあたり何かアドバイスをお願い出来ませんでしょうか。よろしくお願ひいたします。

かし在宅療養においてはゼロリスクを求めすぎず、日々の生活を楽しくすることを優先してください。そもそも介護は濃厚接触そのものなので感染対策と見事に相反します。だからコロナを意識しないほうがいいでしょう。マスクがでかけるならば人と接する時はしたほうがいいのですが、本人が嫌がる場合は無理しなくともいいです。また家族やスタッフのマスク姿を怖がる認知症の人も沢山います。特に、レビー小体型認知症の人はマスクを嫌がる人がいるので無理をしないことが大切です。

寒いかもしれませんね。いずれにせよ、換気と室温と湿度を上手にしむことを優先してください。

この10月から例年どおり季節性インフルのワクチン接種が始まります。家族みんなで打ったほうが多いでしょう。新型コロナとインフルの同時流行があるかもしれないですね。また5年毎に打つことになつていてる肺炎球菌ワクチンは打つていてるでしょうか？もし打つていないうならば自費でも打つておきましょう。あと誤嚥を恐れないのでください。また誤嚥と誤嚥性肺炎を混同しないでください。

寝る部屋を別々にするかどうかは、ケースバイケースです。要介護4ということは常に見守りが必要な状態なのでしょう。介護ベッドの横に介護者が寝ざるを得ないかも知れませんね。

家族内感染を防ぐにはマスクや手洗いはもちろんですが、部屋の定期的な「換気」がなによりも大切です。食物の誤嚥で誤嚥性肺炎は起きないことを知つておいてください。

生きることは食べること。食べることは生きることです。家族が力をあわせて悔いのない在宅療養を支援してください。

病気の9割は歩くだけで治る！ PART2

体と心の病に効く最強の治療法

長尾和宏著

誤嚥性肺炎は夜間睡眠中の唾液の不顎性誤嚥で起こります。だから寝る前の口腔ケアがなによりも大切です。食物の誤嚥で誤嚥性肺炎は起きないことを知つておいてください。

生きることは食べること。食べることは生きることです。家族が力をあわせて悔いのない在宅療養を支援してください。

つて「食支援」と「口腔ケア」と「嚥下リハビリ」に取り組んで下さい。医師や看護師だけでなく、歯科医師、歯科衛生士、栄養師、言語聴覚士、理学療法士などの専門スタッフのアドバイスを受けてください。食べる量が減つているとのことで、食材と食形態の工夫が必要です。嚥下機能が低下すればある粘度の食べ物しか食べられなくなります。人生の最大の楽しみである食べること（食支援）に熱心な在宅医とケアマネを選んでください。それが在宅療養を成功させる第一歩です。

次にコロナ禍の中の在宅介護に関して、いくつかアドバイスさせてください。

まずは貴方や息子さんがコロナを自宅に持ち込まないことです。家族が日々の社会生活中でコロナに感染しないように細心の注意を払つてください。幸い、いわき市の患者数は多くないようですが、できる範囲で気をつけてください。

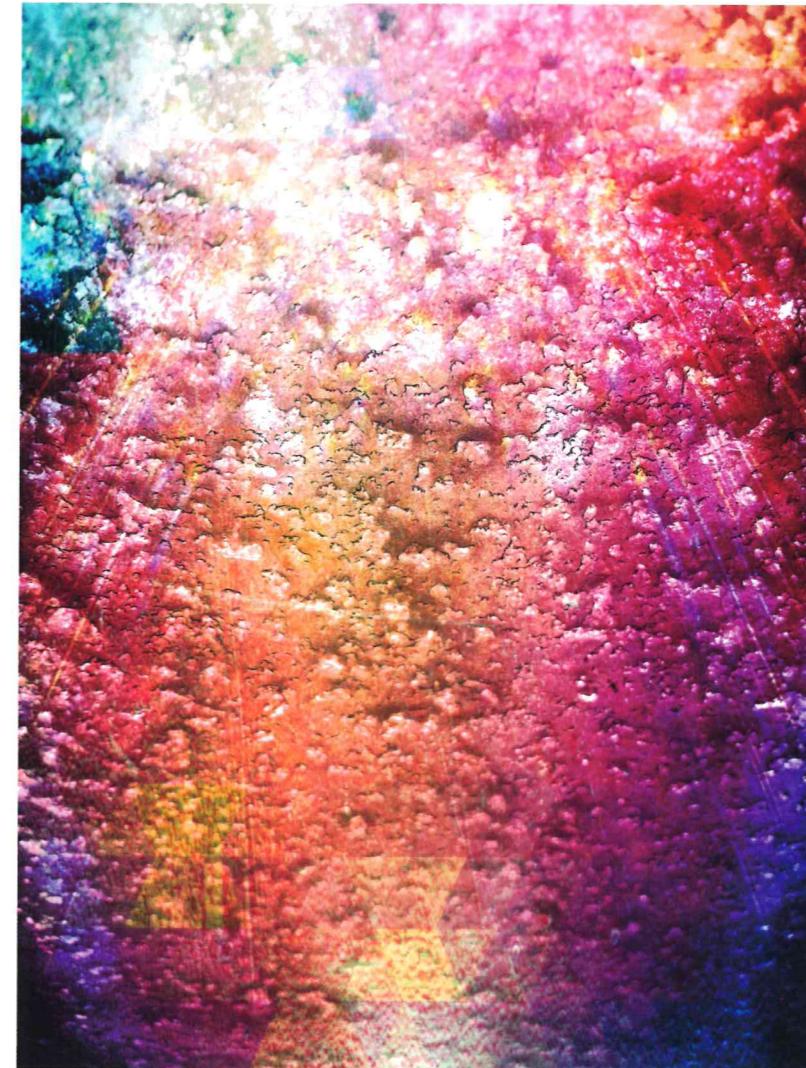
多くの人と接した後は衣服にウイルスが付いている可能性があるので家に入る前に外で脱いで、はたいてから帰宅してください。し

を開けると暖房をしてもちよつと

きらめき
+
プラス

Volunteer

2020 September Vol.86



日本一の中古商品を作ろう!! を合言葉に
リベラル株式会社

テクノロジーの進化は、
新たな機会を創出します
矢澤 修